

# 平成25年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業	事業コード	2944
-----	------------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	6051
	重点施策体系	重点施策	分類(大)	分類(小)		821

PLAN(計画)	部署名	秘書企画課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市に滞在し、まちづくりに関する調査・研究、スポーツ・学術研究等の合宿を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成し、滞在環境を整えることで、若い世代の呼び込みを図る。本市への滞在を通して地場産業や風土、人情に触れていた だき、地域のPRを図るとともに、学生の若い感性による提案や提言を受け、まちづくりに生かしていく。				
	概要	鯖江市に滞在し、まちづくり等の調査、研究を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成する。 【提案型】まちづくりの研究を行い、市に対して提案、提言を行う。(1人泊あたり1,500円助成) 【合宿型】スポーツ・勉強等を行い、自己の体位・学力の向上に努める。(1人泊あたり1,000円助成) 【ゼミ合宿】ゼミにおいて研究テーマに本市に関する題材を取り上げる活動。(1人泊あたり1,500円助成)				
	法令根拠					
	実施形態	現在	民間等委託(一部)			

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	大学等への周知活動(HP掲載)回数		回	目標値		1	1	1	1
				実績値		1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	補助制度活用学生数		人泊	目標値		450	500	500	500
				実績値		498	2,217		
	計算根拠	※H24はアートキャンプ参加者もカウント			達成率(%)	110.7	443.4		
					ランク	A	A		
			実数値						

事業費/千円	区分	H24(2012)	H25(2013)	事業委員	正規職員	0.1	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,776	1,908		臨時・嘱託			事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	898			※所要時間			経費区分	物件費
	繰越額	0	0						

# 平成25年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	学生と地域住民との交流によるまちづくりは、地域に元気と活性化をもたらすものであり、必要不可欠である。	
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	当該事業は市から学生等への補助、および県へ補助金申請が主たる業務であり、民間へ委託することは不可能である。しかし、PR、学生募集等については、民間でも実施可能である。	
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/> 不可能
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	補助要綱に基づくため	
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	県の補助を活用しており、これ以上の財源確保は不可能である。	
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	平成24年度から高校生を対象に拡充した。	

ACTION	【平成25年度 方向性】	<input type="text" value="内容拡大"/>	【平成26年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成25年度取組み	平成24年度から対象を高校生と古民家での合宿にも適用できるように内容を拡大して実施している。また、平成25年度からは短期間の大学ゼミ活動に関して、提案型市民主役事業でエルコミュニティに委託してより細やかな受け入れ態勢を整え、本市の魅力の情報発信に努める。	平成26年度計画	交流人口の増加に向けて、多くの学生を受け入れるため、引き続き、滞在型まちづくり活動を支援する。

【H26提案型市民主役オープン事業実施】						<input type="text" value="可能"/>	〈不可能選択理由〉 <input type="text"/>
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)		
取組選択	—	不可能	可能	可能	可能		
実施状況	—	未実施	未実施	実施			

# 平成25年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

事業名	統計協会運営補助事業	事業コード	1716
-----	------------	-------	------

総合計画体系	基本施策体系	基本目標	属性	基本施策	実施施策	6051
	重点施策体系	市民が主役の地方主権のまちづくり	行政運営	効率的な行政運営を推進する	民間力の活用	

PLAN(計画)	部署名	情報広報課	開始年度	1982	終了年度	9999
	目的	各種統計調査を円滑に運営するために、市統計協会員が統計調査に関する知識を深め、技術の向上を図るとともに、協会の活動を通じて広く統計事業について普及に寄与するため、市統計協会の活動を支援する。				
	概要	鯖江市統計協会への活動補助金を交付するとともに協会活動に対してアドバイスをを行う。				
	法令根拠					
	実施形態	現在	市直営	法に基づく統計調査を実施するには、現状では協会の協力が必要不可欠であり、自主運営に向け、協会の庶務事務を援助している。		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)
	研修会の開催回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2		
	計算根拠	研修会の年間開催回数		達成率(%)	100	100	100		
				ランク	A	A	A		
			実数値						
事業費/千円	区分	H24(2012)	H25(2013)	事業委員	正規職員	0.2	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	180		臨時・嘱託			事業タイプ	単独事業
	決算額	180			※所要時間			経費区分	補助費等
	繰越額	0	0						

# 平成25年度 事務事業評価\_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK (評価)	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	統計調査は都市計画や福祉施策など市の施策に反映され市民サービスにつながる ことから、協会の活動を通して調査員の確保と資質の向上を図ることは必要で ある。
	【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	統計調査は行政運営の基礎となる重要なもので、正確な結果が求められる。その ために、質の高い調査員の確保が必要であることから多くの調査員が加入する統 計協会の充実が求められる。しかし協会の自主運営の方向性が見出せない現状に おいては市の関与が必要である。
	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体 事業名	【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ない	所管課 事業名	【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	協会には統計調査員の多くが加入しており、市の統計調査は協会の協力を得て スムーズに実施されてきたことから、現在実施している事業を削減することは考 えられない。よって削減の余地はない。
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法はありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	統計協会による収益事業を実施するだけの材料が見当たらない。
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させる 余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ない	根拠	市として補助金を出すだけでなく、調査員の確保と協会加入への働きかけ、また 資質向上のための研修などを実施してきたが、個人情報保護の高まりなどから調 査が難しくなっていることもありこれ以上の成果は期待できない。

ACTION	【平成25年度 方向性】 <input type="checkbox"/> 維持	【平成26年度 方向性】 <input checked="" type="checkbox"/> 維持
	平成25年度取組み 研修会の開催など協会の活動をとおして、統計調査 員の確保と資質の向上を図る。	平成26年度計画 研修会の開催など協会の活動をとおして、統計調査 員の確保と資質の向上を図る。

【H26提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="checkbox"/> 不可能						〈不可能選択理由〉 団体補助等の特定の相手先への 補助金や交付金事業のため
年度	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	
取組選択	—	不可能	不可能	不可能	不可能	
実施状況	—	未実施	未実施	未実施		